

コロバン酸性タイプの使用法

- ① 施工しない箇所や周辺基材を養生してください。
- ② 施工面を必ず洗浄してください。汚れ・油分・保護用ロウ等が表面にあるとコロバン酸性タイプがはじき、ムラになり均一な仕上がりの妨げになります。
※ 汚れ・油分の除去にはオリーブを、基材表面の保護用ロウの除去にはセラリムーブをお使いください。
- ③ 目地がある場合は、目地保護のため散水して目地に充分水を吸収させてください。基材表面に残った余分な水分は、バキュームで吸い取るか、フロアスクイジーやミヤキモップ等で拭き取ってください。
- ④ コロバン酸性タイプを水道水で2~5倍に希釈して、薬品用ハケ、ミヤキモップ、ローラー等で均一に塗布してください。
※ 高濃度で使用すると表面の光沢が低下します。
※ 希釈率を下げると反応時間は短くて済みますが、施工面積が広い場合等かえって施工性が悪くなります。
※ コロバン酸性タイプの水溶液が施工面等の片側に溜り均一な処理が出来ない場合がありますので、放置期間中はモップまたは白か赤パットを装着したポリッシャー等でコロバンを均一にしてください。
- ⑤ 10~20分後、靴底にて処理面のスリッパ防止効果を確認し、効果が充分である事が確認できたら、ブラッシングしながら充分に水洗いを行ってください。
- ⑥ 弊社酸性洗浄剤用中和剤『ソフター』を水道水で5倍くらいに薄めて塗布してください。15分放置後充分に水洗いしてください。（『ソフター』で中和することでコロバンの反応を止め、床面、目地の損傷を防止します。）
※ スリッパ防止効果が充分でないときは、再度④⑤の作業を繰り返してください。
ただし、放置時間は調整してください。
※ コロバン酸性タイプ施工後は、汚れが付き易くなる場合があります。汚れ防止に弊社商品浸透性保護剤の『アリストン』を塗布するとメンテナンスの負担を軽減します。

製品有効期限：未開封冷暗所保管で製造より1年
標準使用量（原液使用時） 7~10㎡/ℓ
※ 使用量は基材によって多少異なります。

コロバン酸性タイプの使用上の注意

- ① 施工要領書、使用上の注意及びSDSをよく読み、ご使用前に貴社使用条件及び目的に適合するか、充分検討の上ご採用ください。本施工前に必ずテスト施工を行い施工面及び周辺基材への影響をご確認ください。
- ② エアレス・スプレー・噴霧器等で絶対に施工しないでください。
- ③ コロバンを塗布したまま長時間放置しておくことと基材を傷める恐れがありますのでご注意ください。
- ④ 基材の種類によっては、艶引けによる色目の変化・ムラが出る場合がありますので、予めテストにてご確認ください。
- ⑤ 大理石・テラゾーには使用しないでください。鏡面仕上げの石材に使用すると艶が落ちムラが出ます。
- ⑥ 芝・植木・池等の近くで作業するときは必ず養生の上で使用ください。ガラス・アルミサッシ・金属等を腐食しますので、付着したときは速やかに水洗いしてください。
- ⑦ 水道水以外のものと混合しないでください。
- ⑧ 作業をするときは換気をよくし、必要に応じて局所排気設備のある所で作業してください。
- ⑨ 必ず適切な保護具（ゴム手袋・保護メガネ・防毒マスク等）をお使いください。
- ⑩ 口や目に入ったとき、手や皮膚・衣類についたときは、速やかに充分な水洗いをし、医師の診察を受けてください。
- ⑪ 子供の手の届かない冷暗所に密栓して保管してください。運搬目的以外での車内保管や別の容器に移しかえての保管はしないでください。
- ⑫ 一度別の容器に移した液はもとの容器に戻さないでください。開封後はなるべく早くご使用ください。
- ⑬ 取り扱い後は手洗いを充分行ってください。
- ⑭ ガス抜きキャップ仕様のため、コロバン酸性タイプを横倒しにすると液漏れしますのでご注意ください。
- ⑮ 用途以外には使わないでください。施工に専門知識・技術を要するため、業務用として販売しています。一般の方はご使用をお控えください。



『ムラなく均一な仕上がりのために』
👉ここがポイント!!

ポイントその1

コロバンを施工する前に必ずアルカリ洗浄剤などで洗浄してください。

理由その1：コロバンの馴染みを良くするために。

理由その2：はじきムラをなくすために。

ポイントその2

コロバン塗布後の放置期間中はモップまたは白か赤パットを装着したポリッシャー等でコロバンを均一にしてください。

理由：コロバンを馴染ませるために。

スリッパ防止効果の持続性について

コロバンによるスリッパ防止効果は永久的な効果を保証するものではありません。効果が低下する要因として考えられる事は以下の通りです。

- ① 歩行摩擦によってコロバン施工で出来た凹凸が磨耗し、基材表面が平滑な状態になっていくことによりスリッパ防止効果が低下する。
- ② コロバン施工で付与した凹凸の凹部に汚れが蓄積し、基材表面が平滑な状態になっていくことによりスリッパ防止効果が低下する。

上記の2点を想定すると、効果の持続期間は現場での歩行頻度及び汚れの蓄積速度（歩行頻度と日常メンテナンスの状況により変化する）、基材の強度に左右されます。

※メンテナンスサイクル等は各現場の状況に合わせてご計画ください。